

ココロ、トキメク、ヨツカイチ

2023

広  
報

# よっかいち

9  
September

*yokkaichi*



- 02 【特集】 みんなでつくる認知症フレンドリーなまち
- 08 みんなで守り育む、緑あふれるまちづくり
- 09 第50回記念 四日市市美術展覧会

- 10 きらり四日市人 四日市JAZZフェスティバル実行委員長  
ひらかず  
柳川平和さん
- 11 B-1グランプリ / 市長コラム
- 12 そらんぼへ行こう / 文化財さんぽ



# みんなで作る 認知症フレンドリーなまち

2025年には65歳以上の人の5人に1人が認知症になるといわれ、身近なことになってきています。一方で、新薬の実用化が期待されるなどの医学の進歩や、認知症の人の意思を尊重した支援などが広まりつつあります。本市でも、あなたやあなたの家族が認知症になっても安心して暮らせるまちを目指しています。

教えて！  
三原先生  
(認知症専門医)

## 認知症って何ですか

認知症とは病気の名称ではなく、何らかの脳の疾患によって引き起こされる判断力や記憶力の低下により、生活に支障が出ている状態をいいます。



## 高齢者の病気ですか

年齢とともにリスクは上がりますが若ければ大丈夫ということでもなく、20歳前後で発症する場合があります。80代後半ではおよそ3人に1人が認知症だと言われ、年齢を重ねるほど確率は上がります。長寿化が進む現在、誰もが認知症になりうるということです。



## どんな症状がありますか

初期であれば、支障が出るのは日常生活の中の一部です。認知症の症状は疾患により多様で、不安が強くなったり、引きこもりがちになったり、何かを盗まれたなどの妄想があったりします。ただし症状が進んでも、昔からやっていることなどは体が覚えていたりします。

## 治らないのでしょうか

現在のところ、完全に治すことはできませんが、薬を使用することによって進行を遅らせたり、症状を緩和したりすることができます。どの種類の認知症か判断することで、今後の症状が予測でき、適切な介護につなぐことができます。



三原クリニック院長、認知症専門医、  
三泗区域連携型認知症疾患医療センター長  
三原貴照先生



認知症の人と一緒にタスキをつないで日本を縦断するイベント「RUN 日本」

## どのように対応したらよいですか

認知症の人を尊重し、簡単な言葉でゆっくり話したり、意見や感情に共感したりすると、本人の不安や不快感が和らぎます。症状が進んでいても感情はあるので、自尊心を傷つけないようにすることが大切です。

## 家族の行動に「あれ？」と思うことがあります

かかりつけ医がいる場合は、相談してみてください。本人が受診を渋っている場合でも、医師からの「専門医にかかってみたら」という提案が、受診への一歩につながる場合があります。各地区に一カ所ずつ設置されている在宅介護支援センターでも相談を受け付けています。医療関係者、福祉関係者、認知症の専門医による「認知症初期集中支援チーム」が自宅を訪問して、受診前のサポートをすることもできます。

認知症は、家族から見るといつ始まったかわからないため、なかなか受け入れることができない人もいます。「認知症だったらどうしよう」「認知症でないこともあるのでは」と不安や戸惑いがある人も多いですが、受診は認知症であることを受け入れる一歩になります。

家族だけで必死に介護して、心と体のバランスを崩してしまう人もいます。認知症の人を支えていくには、本人と家族を、受診前から受診後まで切れ目なくサポートすることが大切だと考えています。

## 四日市市介護予防等拠点施設 (ステップ四日市)

認知症支援の拠点として令和5年6月にオープン。

若年性を含め認知症の不安がある人や認知症と診断された人、その家族などからの相談を受け、適切なサービス、支援への橋渡しをします。

時 8:30～17:15  
(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)  
☎ 348-4008



## 認知症の人と家族の安心のために

本市では、認知症の人などが外出中に道に迷った時の早期発見・安全確保や、電車事故などで賠償責任を負った時の補償を整え、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを進めています。

### ● 認知症高齢者等 SOS メール配信事業 見守り協力者登録

メールで市民に協力を依頼します。(四日市市安全安心防災メールのサイトから登録してください)



### ● 認知症高齢者等安心おかけりシール 交付事業

※ QRコードシールで家族に連絡します



### ● 認知症高齢者等あんしん GPS 給付事業

位置を検索できる GPS 機器を給付します



### ● 認知症高齢者等あんしん保険事業 もしもの時の補償に備えます

※ QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です

早期受診・  
早期診断が  
大切です





# もし認知症になったら

## 家族のキモチ

### 周囲に支えられています

私が三歳の時に父が急死し、父が脱サラして始めたばかりだった八百屋を母が引き継ぎ、周りの人に助けられながら姉と私を育ててくれました。朝まだ暗いうちから市場に仕入れに行き、夜遅くまで店を開け、休むことなく懸命に働いたしっかり者の母でした。

そんな母の様子がおかしいなと思ったのは新型コロナウイルス感染症が広がり始めた頃からでしょうか。高齢になってから母は配達には出ずに店番をするようになっていたのですが、外出自粛でお客さんもあまり来ずに、人と話すことが減っていました。そのせいかはわかりませんが、レジで300円を300万円と打ってしまって合計が合わなかったり、私達夫婦が配達に行っている間にコンロを使って鍋を焦がしたり、ということが続きました。他にもドラッグストアで同じ薬を何度も大量に購入したり、日課の散歩に行ったこと自体を忘れて、何度同じ注意をしても理解してくれず、あんなにしっかり者だった母が変わってしまって、とてもショックでした。

現在母は、定位置のレジ横で店番をしています。本当はもう私達夫婦の配達の仕事だけにして、店は閉めようと思っていたのですが、夫が母の「仕事をしたい」という想いをかなえるために半分だけシャッターを開けて、少し商品を並べてくれています。常連さんは、母が何度同じことを聞いてもニコニコしながら同じ説明をしてくれますし、隣の奥さんは「買い忘れたものがある」などとあえて午前と午後に分けて、母の様子を見にきてくれたりするんですよ。母は本当にたくさんの人に助けられていると思います。とてもありがたいです。

母は、話すとてもしっかりしているんです。レジは間違えけれど、お釣りがいくらになるかすぐ計算できますし、知らない人から見ると元気な高齢者です。でも目が離せないと思うことがたくさんあります。

これからもたくさんの人にお世話になると思いますが、母らしく元気に過ごしてほしいです。



増田智子さん(右)、  
たま子さん(中央)、  
智子さんの夫の典雄さん(左)



本好きのたま子さん。読書は困難になってきたので、智子さんに朗読してもらいます



常連客の広瀬ちよ子さん(右)。  
買い物がなくても立ち寄ってくれます



商品の搬入もします

症状には毎日波があり、穏やかな日も泣きたい日もあると語る智子さん



## 本人のキモチ

### これからも自立して生活したい

今年の初めに、ひらがなや簡単な漢字が思い浮かばないことがあり、すぐに病院に行きました。CT検査をした結果、脳の萎縮があり「だんだんひどくなっていくかもしれない」と医師から言われました。

これから症状がどうなるのか少し心配ですが、ケアマネジャーさんが訪問してくれたり、「何かあったらすぐに連絡して」と言ってくれたりするので心強いです。

週3日はデイサービスや「すこやかサロン<sup>®</sup>」に通っていますが、一人暮らしなので何も無い日は一日中誰とも話さないこともあります。進行を少しでも遅らせるためにもっと色々な活動をしたいと考えています。

※下野地区の市民活動団体が運営する、高齢者の介護予防、交流、生きがいづくりを目的とした通所型サービス



寿司職人だった林さん。手早く魚をさばきます



認知症の記事があるとスクラップします



林典雄さん

## 支援者のキモチ

### 自宅以外の落ち着ける場所を

私たちケアマネジャーは、福祉サービスの計画を立てることが仕事です。認知症の人が、自宅以外の落ち着ける居場所を探し手助けをしています。本人が安心して過ごせそうな施設をいくつか試してもらい、施設での様子だけでなく、帰宅後の様子がいつもと変わらないか、家族に確認してもらって通所先を決めていきます。そして時には、本人の気持ちを汲んだ支援内容になるように施設にお願いすることもあります。

家族の負担が大きいと自宅での生活ができなくなってしまうので、家族をサポートすることも重要だと考えています。家族は介護の悩みを周囲に打ち明けることができずに孤独を感じ、本人との意思の疎通が難しいことで疲れてしまう人もいます。「大したことじゃないから」と遠慮する人もいるので、話を聞くために訪問したり、「認知症の人と家族の会」などを案内したりして、独りじゃないということを感じてもらい、支えるようにしています。

ケアマネジャー、病院、施設などは随時連携を取っています。みんなで本人や家族を支えていくので、困りごとが大きくないうちに気軽に相談してほしいですね。



良和生活支援事業所ケアマネジャー  
伊藤ターミエンさん



## 企業の皆さんも見守っています 「四日市市見守り等活動に関する協定」

本市では孤立死を未然に防止するとともに、高齢者・障害者・児童虐待などで支援が必要な人、認知症や知的障害により外出中に道に迷った人などを早期に発見するため、地域住民の自宅を訪問したり外交活動を行ったりする機会が多い事業者、多数の市民が利用する窓口がある事業者などを見守りに関する協定を締結し、見守り、安否確認体制の充実に努めています。



今回は、「おもいやりレジ」を展開するマックスバリュ東海(株)さんにお話を伺いました。「おもいやりレジ」は、認知症の人だけでなく、子ども連れの家族、妊娠している人など、サポートが必要な人のために設置している、焦らずゆっくり会計ができるレジです。

現在、マックスバリュ東海では三重県全店で「おもいやりレジ」を導入しています。導入する際、正しい知識や現状を知った上で対応することが必要だと考え、店舗責任者をはじめ、接客担当を中心に認知症サポーター養成講座を導入に先駆けて受講することにしました。

以前店長をしていた店舗で、常連のご高齢の方がしばらくお見掛けしなくなった後、お亡くなりになったこと、そして認知症であったことを知り、地域の皆様と連携することでもっと何かできたのではと悔しい思いをしたことがあります。他の店舗においても、今まで認知症のお客様がいらっしゃっても自分なりにサポートするしかなかったため、具体的な事例や対応方法を指導いただく講座は大変好評です。

これからも地域とのつながりを大切にしながら、安心してお買い物ができる場所を目指していきたいと考えています。

マックスバリュ東海(株)  
藤本友也さん



認知症サポーター養成講座を受講して、「できることを奪ってしまわないこと」、「本人の自尊心を傷つけないこと」が大切と学びました。これまでは、何でも先回りしてお手伝いしていましたが、今は「お手伝いしてもいいですか」と一声かけるようにしています。

### 認知症サポーター養成講座とは

認知症の正しい知識や認知症の人への接し方などを学び、自分のできる範囲で認知症の人と家族をサポートする「認知症サポーター」。養成講座を受講した人にオレンジリングを配布します。

開催日程などは、市ホームページ (HP) 1001000003685) をご覧ください。



マックスバリュ笹川店  
店長の加藤聡さん(右)、  
菅久美さん(左)

## いつまでも住み慣れた地域で暮らしていけるように

### 認知症カフェ

(HP) 1495174760244

認知症の人や家族、地域住民、専門職など誰もが気軽に集い、交流できる場です。同じ立場で語り合い、悩みを共有するなどつながり合うことができます。

### レイの会 (若年性認知症者の会)

三重県内の若年性認知症当事者が集まり、若年性認知症カフェやさまざまなイベントの企画・運営・参加をしながら活動しています。

偶数月 第4土曜日 (うのもりクリニック)

奇数月 第3金曜日 (ステップ四日市)

☎ 同会事務局 デイハウス沙羅 (☎382-8490)

### 認知症の人と家族の会

家族が励まし合って、助け合い「認知症があっても安心して暮らせる社会」を目指す会です。全国47都道府県に支部があり、本市では、家族のつどい (偶数月の金曜日)、若年性認知症のつどい [日曜日 (年数回)], 在宅介護終了者OBのつどい (奇数月の第4金曜日) を開催しています。

☎ 三重県認知症コールセンター (☎059-235-4165)

同会 三重県支部 (☎059-227-8787)

(水曜日を除く平日10:00~18:00、祝日・年末年始は除く)

### 認知症地域支援推進員

認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、医療や介護の関係機関と調整します。また認知症に関する普及啓発や認知症の人の本人発信、社会参加に向けての仕組みづくりを支援しています (各地域包括支援センターなどに配置)。

### 地域で支えるボランティア! 認知症フレンズ

認知症フレンズは、認知症サポーターから一歩踏み出し、認知症の人や家族と支え合いながら、仲間や友達のように一緒に歩むパートナーです。

いつか自分自身が認知症になるかもしれないと思い、知識を得るために認知症サポーター養成講座を受講しました。現在は、認知症カフェの運営を手伝っています。認知症カフェという名ではありませんが、私が手伝っているカフェでは認知症の人だけでなく、いろいろな人が参加していて、布で花などを作る手仕事をしたり、故郷の話をしたり、薬剤師からスキンケアの話を聞いたり楽しく過ごす場となっています。私自身楽しんで参加しています。ぜひ気軽にお近くのカフェに参加してください。



認知症フレンズ 西川和子さん

### 認知症フレンドリー宣言

本市では、認知症があっても、なくても、誰もが暮らしやすい認知症フレンドリーなまちの実現に向けて、オールよっかいちで取り組みます。

また、市職員も理解を深められるよう、職員向けの認知症サポーター養成講座を実施したり、認知症カフェの開催を計画したりしています。

認知症の人と家族への支援は、下の二次元コードから



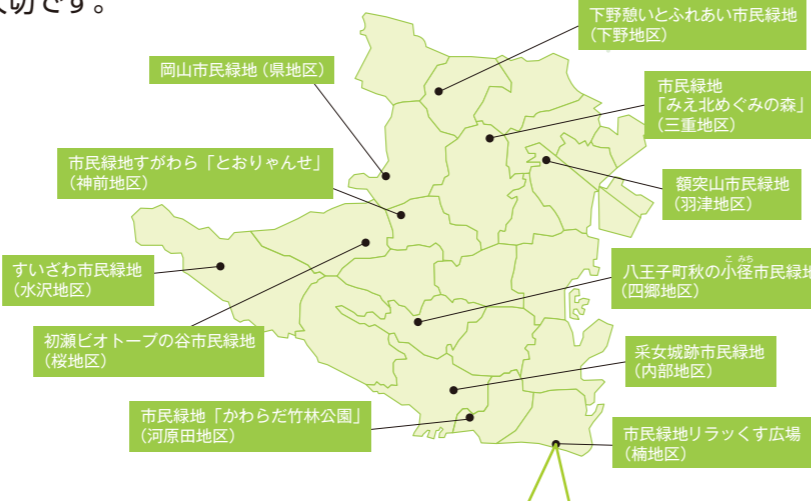


# みんなで守り育む、緑あふれるまちづくり

本市には、森林や里山がたくさんあります。こうした緑を生かし、未来に伝えていくことは、今を生きる私たちの務めです。今ある緑を保全しつつ、新たな緑を創出し、暮らしに安らぎと潤いを与える緑豊かな都市を形成していくことが大切です。

## 市民緑地制度

荒れていた里山などを地域の皆さんが自らの手で管理・整備し、市民の憩いの場として活用する制度です。市は所有者から土地を借り受け、地域団体などに維持管理と整備を委託しています。現在、市内には11カ所の市民緑地が開設されています。



令和5年  
3月5日開設

## 市民緑地リラックス広場

昨年度、楠町南川に新たに市民緑地を開設しました。

春には梅・チューリップ、夏にはヒマワリ、秋にはキンモクセイなど季節の花々を楽しむことができ、ボール遊びや、自転車の練習などに使える広場があります。



## 市民緑地リラックス広場を管理する龍神丸おっさんの会 会長 竹野成記さんからのコメント

元々地域で利用していた広場を、自然に親しむことができる憩いの場として活用するため整備を行いました。新型コロナウイルスの影響もあって、一筋縄ではいきませんでした。街中にあるので、いろいろな形で活用でき、災害時の一時避難場所などにもなるようにと、地域で相談しながら活動してきました。いろいろな人に憩いの場として利用してもらいたいですね。



龍神丸おっさんの会(前列右 竹野さん)

## 公園愛護会

### ～身近な公園により親しみを～

公園を利用する人々が、公園施設を大切に、適切な維持管理を行うことで、よりきれいで、よりよい環境の公園が育まれます。また、身近な公園を通じて人と人とのつながりが生まれ、住みよい地域づくりにつながっていきます。

本市では、地域で結成していただいた「公園愛護会」の活動に、清掃用具などの貸与を行い支援しています。詳しくは、公園緑政課まで、お問い合わせください。



## 公園愛護会の活動

- 公園内の除草と清掃
- 遊具などが壊れた時の市への連絡 など



## 緑あふれるまちへ

身近な公園は、園内の緑が、訪れる人の気持ちをやわらげ、憩いの場や子どもの遊び場にもなります。また、災害時の避難場所となる公園もあります。皆さんも地域の愛護会活動に参加してみませんか。

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 公園緑政課 ☎ 354-8197 FAX 354-8404

## 第50回 記念

# 四日市市美術展覧会

9月30日から、文化会館で開催される四日市市美術展覧会(市美展)。昭和48年の第1回から今年で50回の節目を迎えます。市民の創作意欲を高めるとともに、美術への理解を深め、本市のアートを育んできた市美展の歴史と取り組みをご紹介します。

## 市美展の前にあった市美展!?

戦後間もなくの昭和23年、美術教員らによる四日市美術協会の主催で、本市で初めての公募美術展「四日市美術展覧会」が当時の市庁舎で開催されました。

洋画、日本画、彫刻、工芸、写真の5部門、80点以上の作品が出品され、盛大に開催されました。



四日市市役所旧庁舎(市立博物館蔵)

## 今後の人材育成に注力!

### 若手の更なる成長を「クスノキ賞」

市の木「クスノキ」がすくすく成長して大きくなるように、今後さらなる活躍が期待される若手の優れた作品を賞するため、昨年度(第49回)から始めました。

### 美術体験ワークショップ

子どもたちが気軽に文化に触れるきっかけとして、昨年度から始めました。美術を体験するとともに、会場の展示作品を鑑賞するきっかけにもつながります。詳しくは市ホームページをご覧ください。



書道ワークショップ「大文字体験」



文化課 田端文音

市美展来場者からは、「気軽に多くの展示を観ることができ、貴重な時間になった。」や、「とても刺激を受け、私も何か作りたくなりました。」などの声が届いています。ぜひ、お越しください。

## 市美展の歩み

### 昭和48年 第1回

四日市美術展覧会を改め、市が主催者となり、「四日市市美術展覧会」を開催。

### 昭和57年 第10回

文化会館が開館し、その記念行事の一環として開催。以後、会場は文化会館に。

### 平成元年 第17回

岡田文化財団賞が設けられ、以後、新人賞相当となる。

### 平成2年 第18回

天津市(中国)との友好都市提携10周年を記念し、天津の画家3作品が特別出品される。(以後、第23回まで継続出品)

### 平成4年 第20回

### 平成14年 第30回

### 平成25年 第40回

来場者が選ぶ作品賞を設ける。公募展に合わせて、博物館を会場としてこれまでの歩みを紹介する「回顧展」を同時開催。



第1回チラシ



第10回ポスター



第30回ポスター

## 第50回四日市市美術展覧会

期 9月30日(土)～10月8日(日)(10月2日は休館)

所 文化会館展示室・第4ホール

内 日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真の6部門、三泗地域に在住、通勤・通学する人から応募のあった作品とともに、全国展などで入賞した優れた作品も展示します。



●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 文化課 ☎ 354-8239 FAX 354-4873



kirari yokkaichijin Vol.126

# きらり四日市人

四日市JAZZフェスティバル実行委員長

ひらかず  
柳川平和さん



「四日市を音楽であふれる街に」と開催されてきた「四日市JAZZフェスティバル」が、今年で10回目を迎えます。長年、実行委員長を務めてきた柳川平和さんに、ジャズフェスへの思い、節目の年への抱負を語ってもらいました。

## 音楽の力の素晴らしさを実感

文化会館の開館30周年記念事業の一環として、平成24年の秋に初開催しました。ジャズが四日市に馴染むのか、出演バンドはいるのかなど不安は尽きませんでした。当日は大雨の中でしたが、ゲストを含めて77組が出演し、約7,000人が来場して生演奏を楽しみ、音楽の力の素晴らしさを感じました。

音楽があちこちから聞こえてくる街にしたかったので、メイン会場を市民公園にし、商店街やジャズ喫茶などいろいろな場所を会場に設定しました。



昨年の市民公園でのステージ



四日市JAZZフェスティバル  
実行委員会メンバー



ヒロミチイトさん  
デザインの10周年を祝うポスター

パンフレットを手にして街を歩く人を見たときには、想像していた光景が今ここにあり、中心市街地に回遊性が生まれたと感激しました。

## 実行委員会、出演者、来場者で作り上げる楽しさ

実は1回限りで終わる予定だったのですが、「続けてほしい」といったメールや電話が多数寄せられて継続が決まりました。過去には、「あすなろう鉄道」の電車の中で演奏してもらったこともあります。毎回、四日市出身のテナーサクソ奏者・田辺信男さんがゲスト出演し、会場を盛り上げてくれています。回を重ねるごとに出演者、来場者とも増えています。

演奏したい人たちの熱意、市民の後押し、そして「音楽で街を活性化したい」というスタッフの情熱があったからこそ続けることができたと思います。10回目を迎えられるのは、実行委員会、出演者、来場者が一緒に作り上げるイベントとして成長してきた証だと自負しています。

## 街は劇場、通りは舞台、主役はあなた

今年は10月21日(土)・22日(日)に、市民公園をメインに20会場で開催します。出演者は過去最高の120組。今回初めて、10代を中心とした若者たちによる「ティーンズ会場」を設けます。ジャズと言うと、60・70代が聴くイメージですが、若い人にも興味を持ってもらうきっかけ作りになればと企画しました。

10回を節目に私は実行委員長を卒業する予定ですが、「街は劇場、通りは舞台、主役はあなた」をコンセプトに、音楽で街を盛り上げていきたい気持ちはいつまでも変わらないと思います。

9月放送のCTY-FM「よっかいち わいわい人探訪」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)

# 「ご当地グルメでまちおこしの祭典！」

東海・北陸のご当地グルメが集結！



11月18日(土)、19日(日)10:00～16:00に、三滝通り周辺で「2023東海・北陸B-1グランプリin四日市」が開催されます。東海・北陸エリアから15団体、過去にゴールドグランプリを受賞した5団体の合計20団体が本市に集結します。

B-1グランプリは、グルメだけのイベントではありません。来場者へのグルメの提供とともに、それぞれの地域の魅力を発信する、まちおこしのイベントです。

また、グランプリという名のとおり、投票用紙の代わりに、さまざまなグルメを実際に食べた割り箸を使った投票

で、各グルメの順位を決めます。あなたの1票を投票して、お気に入りのグルメを応援してみたいはいかがでしょうか。

1食でも多くのグルメをご賞味いただきながら、それぞれの地域の魅力も感じていただきたいと思います。皆さんぜひお越しください。



「2023東海・北陸B-1グランプリin四日市」ポスター

☎ 観光交流課 (TEL) 354-8286 (FAX) 354-8315



ええやん！

Vol.29

## 四日市市長コラム

### ロングビーチ市との姉妹都市提携60年

本市と米国ロングビーチ市が昭和38年(1963年)に姉妹都市提携してから、今年で60年を迎えます。

ロングビーチ市は、カリフォルニア州南部にある人口約45万人の港湾都市です。

本市とロングビーチ市は、これまでにさまざまな交流事業をしてきました。高校生2人と教師1人を隔年で相互に派遣しあう通称「トリオ事業」や、友好都市である中国天津市を加えた三都市の高校生が環境に関する研究と発表を行う「地球環境塾」の開催、ほかにも、市立四日市病院の医師をロングビーチ市へ派遣する医療交流などがあります。

今年、姉妹都市提携60周年を迎えるにあ

たり、友情のシンボルとなる公式ロゴマークが1月に完成しました。

8月には、本市からの訪米団の派遣、11月には、ロングビーチ市からの訪日団の受け入れを予定しているほか、姉妹都市提携20周年を記念して命名された霞ヶ浦緑地内にあるロングビーチ公園には、ロングビーチ市をイメージした記念遊具を設置します。

ロングビーチ市との姉妹都市提携は、本市の国際交流の象徴的な取り組みです。本市の子どもたちの国際感覚を育て、海外に対する興味につなげていきたいと考えています。

近代プラネタリウム100周年  
& 市立博物館30周年



そらんぽ四日市  
ホームページ

今からちょうど100年前の1923年10月21日、ドイツのCarl Zeiss社で近代的な光学式プラネタリウムが誕生しました。プラネタリウムとはPlanet（惑星）+arium（空間）という意味の造語です。この機械の誕生によって、惑星の複雑な動きが再現できるようになったのです。

本市でも30年前の1993年に、初めてプラネタリウムが設置されました。当時の機械は「ヘリオス」。一つの球体で天球上の北から南まで全ての星を映すことができる「一球式」でありながら、日々の星の動きだけでなく、何千年にもわたる北極星の動きをコンピ

ュータ制御できる、世界で初めての投影機でした。現在使用している2代目は、さらに進化した「ケイロン401」。肉眼で見られる星の色も忠実に再現しています。

そんなプラネタリウム100周年、そして市立博物館30周年を記念したオリジナル番組「プラネタリウムヒストリー 地上に降りた一億四千万の星」を9月12日(火)から放映します。プラネタリウムのメモリアルイヤーを、当館で楽しんでみませんか。



☎ 博物館・プラネタリウム (TEL) 355-2700 (FAX) 355-2704

江戸時代に掘られた「和無田のマンボ」

「マンボ」という言葉を耳にしたことはありますか。マンボとは、員弁・四日市・鈴鹿を中心とする鈴鹿山麓東に分布する、素掘りの横穴式水利施設です。川の浸食で生じた「段丘崖」に隧道（トンネル）を横に掘り、トンネルの壁から染み出た地下水を集めて外に流すものです。灌漑用のほか、生活用水にも使われました。

市内では、水沢町、堂ヶ山町、鹿間町、山村町、西村町などに広く見られますが、今回は小山田地区にある「和無田のマンボ」を紹介します。

江戸時代に掘られた長さ490mのマンボで、壁には当時、掘削に使われた

ツルハシの跡が残っています。流れ出した水は和無田池に流れ込んでいます。

清らかな水をたたえる和無田池には、夏に黄色の小さな花を咲かせるスイレン科の「ヒメコウホネ」が自生しています。葉を水面に浮かせる水生の多年草で、絶滅危惧種に指定されている貴重な花です。

まだ暑さが残るこの時期、江戸時代の人々の知恵で掘られたマンボと、ヒメコウホネが自生する池を訪れてみませんか。（危険ですのでマンボの中には入らないでください）



和無田のマンボの入口

☎ 文化課 (TEL) 354-8238 (FAX) 354-4873



有料広告

※広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します

**近鉄四日市駅前徒歩1分の歯医者** 無料託児サービススタート



**大木歯科医院**  
四日市

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~13:00	●	●	●	●	●	●	▲	—
14:00~18:30	●	●	●	●	●	●	▲	—

※無料託児サービス要予約 ※矯正診療のみ月2回日曜診療

☎ 059-385-1010

診療科目 歯科 / 小児歯科 / 矯正歯科 / 歯科口腔外科



四日市 光倫会館 株式会社 **ふじや本店** 富田 光倫会館 津 光倫会館

光倫会館 桜ホール

**光倫会館**

心をつなぐ**家族葬**

**事前相談** 毎日開催

24時間365日受付

☎ 0120-114248

【本社】四日市市松本北大谷2015 (北大谷斎場口)

**四日市市内のゴールドエイジ(7か所)スタッフ募集!**

募集職種 介護・訪問介護・夜勤介護・看護・訪問看護管理者・厨房(正社員・パート)


施設見学会・説明会 実施中! 要予約

一度施設を見てみたい方、会社について知りたい方、ぜひ一度ご参加ください。これから介護の資格を取得したい方の参加も歓迎しています! 当日の面接も可能です。履歴書・資格証写しをご持参ください。

施設見学会	会社説明会
日時 9/11日・14日 時間 第1回10時~ 第2回13時~ 第3回15時~	日時 9/12日・13日 時間 10時~
会場:各館(●ラウレア ●城西 ●エグゼレント ●小生 ●エラ ●エフ ●さくらしんまち)	会場:四日市市民交流会館(本町プラザ)

会社説明会参加で先着20名様に**2,000円分フオカードプレゼント!**  
※先着順のためなくなり次第終了となります

GOLD AGE 笑顔あふれる介護なら**ゴールドエイジ株式会社**  
お問合せはこちら TEL.052-308-3066  
名古屋市中村区名駅3丁目11番22号 1T名駅ビル1階

ご参加は今すぐこちらから>>> 

ホームページアドレス <https://goldage.co.jp>

建設職人なら誰でも入れる組合です

**建労** 四日市支部 **随時加入者募集中**

**三建国保** 組合独自の建設労働者の健康保険

建労四日市支部のホームページを開設しました

下記URL またはQRコードからご覧いただけます。  
<https://www.kenro-yokkaichi.jp/>

出産育児一時金 (50万円)  
葬祭費 (本人10万円・家族7万円)  
高額療養費、無料健康診断の開催  
人間ドックに対する補助 (3万3千円)  
脳ドックに対する補助 (2万円) など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

**庭木1本から承ります!** 早く! きれいに! お得に!

お客様とお約束  
庭木1本より明瞭料金  
トイレはお借りません  
土日でもOKです  
お茶はご遠慮します

広報よかいちをご覧の方へ

**生垣剪定** 長さ1m×高さ2m  
通常 2,200円を ※税込  
先着10名様 **1,100円**

【四日市店】四日市市西浦1-1 営業時間 9:00~17:00  
お見積り・お問い合わせはお電話もしくは2次元コードから

1本からのお庭サービス **ガーデンエクスプレス** ☎0120-61-4128





# 市の情報発信 9月



## テレビ

### 三重テレビ (地デジ7ch)

- ▶「Mieライブ」内  
旬感☆Mieコーナー  
時 9月25日(月) 18:00ごろ

### CTY (地デジ12ch)

- ▶「ケーブルNEWS」内  
市政コーナー  
時 9月15日・29日(金) 18:00

- 人口 308,379人  
[7月末日現在(前年比-2,003)]
- 火災件数 9件  
[7月分(前年比+4)]
- 交通事故件数 851件  
(7月分)

**友だち募集中** 四日市市 LINE 公式アカウント



@yokkaichicity



## ラジオ

### CTY-FM (FM76.8MHz)

- ▶マンスリーよっかいち  
時 第1・3回 8:54/14:54
- ▶よっかいち わいわい人探訪!  
時 第2・4回 8:54/14:54
- ▶ALO! YOKKAICHI  
時 土 19:54
- ▶なるほど! 防災  
時 月 17:30/水 8:30
- ▶人権を確かめあう日  
時 毎月22日  
(9月は、7:30/11:54/  
13:54/16:30/18:30)

### 東海ラジオ (FM92.9MHz/AM1332kHz)

- ▶1・2・3 四日市メガリージョン!!  
Rock!  
時 土 20:00

## ウェブ/アプリ



### ホームページ

- ▶四日市市ホームページ

<https://www.city.yokkaichi.lg.jp>



### 広報紙

- ▶マチイロ
- ▶マイ広報紙



「よっかいち」  
で検索

- ▶カタログポケット



- 自動翻訳機能(英語、中国語、ポルトガル語など10言語)
- 自動音声読み上げ機能

### SNS

- ▶Facebook
- ▶Twitter



- ▶YouTube
- ▶Instagram



## 編集後記

### 特集に関するこぼれ話

私の周囲にも数年前に認知症の人を介護した経験がある人がいます。その人は、仕事と育児も重なり、とても大変な思いをしたそうです。近年、認知症の人が増えていますが、支援制度もどんどん充実しています。知人に今の制度などについて説明したところ、「何度も行方不明になったので、自分が介護していた時にGPS機器の給付があればとても助けになっただろう」と話していました。

今回の取材で、家族の会では、経験者のアドバイスで肩の荷が少し下りたという人がいました。➤

また、認知症カフェは、様々な講義を受けられたり、手仕事を楽しんだり、それぞれ特徴があります。本人に合ったカフェに通うようになって、ふさぎ込みがちだった人が生き生きしているという話も聞きました。

今、認知症の人の介護で大変な思いをしている人がいたら、記事に掲載したうちのどこかに連絡してはいかがでしょうか。そして少しでも心の負担が軽くなればと思います。(権野)